

横浜港港湾情報システム

Yokohama Port Information System

横浜市港湾局では、横浜港に入港する船舶や港湾施設を総合的に管理・運用するために、昭和57年(1982年)から横浜港港湾管理システム(第1次システム)により各ふ頭をオンラインで結び、船舶や貨物の動きを把握して、港湾管理業務の迅速化・効率化を進めてまいりました。

また、平成11年(1999年)からは、港湾諸手続の簡素化・迅速化を促進し利用者サービスの向上を図るため、電子申請(港湾EDI※1申請)を実施しています。

平成15年(2003年)4月にシステムを更新し、横浜港港湾情報システム(第3次システム)として運用を開始しました。第3次システムでは、電子申請システムとの連携を実現して利便性を高めるとともに、船舶の入出港情報や港湾施設の使用状況などをインターネットにより公開・提供し、港湾利用者への一層のサービス向上を図りました。

平成15年(2003年)7月からは、1回の入力・送信で関係機関に港湾諸手続が申請できる「シングルウィンドウシステム(現NACCS)」に接続しています。

平成20年(2008年)3月には、電子申請時の通信内容を暗号化するSSL※2を導入し、セキュリティの向上を図りました。そして、国が構築した「府省共通ポータル(シングルウィンドウ)(現NACCS)」に対応し、10月12日の運用開始日から接続を開始しています。

平成21年(2009年)10月には、NACCS(旧府省共通ポータル)を経由する電子申請として、新たに入港料減免申請と船舶運航動静通知の2申請を追加しました。

平成31年(2019年)4月には、15年稼働した第3次システムをシステム更新した横浜港港湾情報システム(第4次システム)の運用を開始しました。

今後も引き続き、港湾諸手続の一層の簡素化・迅速化による横浜港の国際競争力強化を推進してまいります。

※1 EDI(Electronic Data Interchange: 電子データ交換)

電子データを、標準的な規約(可能な限り広く合意された規約)を用いて、通信回線を介してコンピュータ間で交換すること。

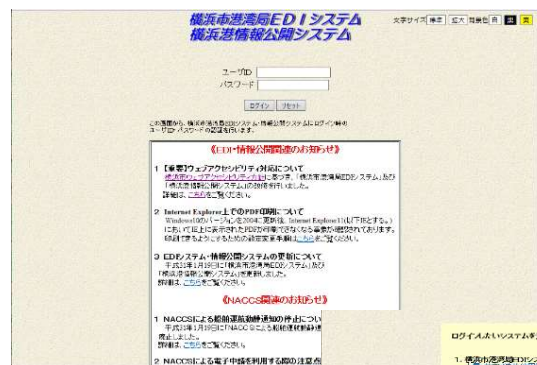
※2 SSL(Secure Socket Layer)

盗聴やなりすましを防ぐため、通信データの暗号化や相手の認証を行う手段。

<横浜港港湾情報システム画面>



<横浜市港湾局EDIシステム画面>



<横浜港情報公開システム画面>



横浜港港湾情報システム

船舶管理システム

- 岸壁使用管理
- 船席決定支援 (GUI) GUI: Graphical User Interface 利用者にわかりやすいように絵表示した画面のこと
- 運航スケジュール管理
- 湾内遊覧船実績管理
- 入港料管理

荷役施設管理システム

- 物揚場使用実績管理
- 渡船橋使用実績管理

施設管理システム

- 上屋・荷さばき地使用許可管理
- 専用施設使用管理
- 水域占用管理
- 電気施設使用管理
- 水道施設使用管理
- 国有地転貸管理
- 市有普通財産貸付管理
- 港湾環境整備負担金管理
- 行為許可管理

料金管理システム

- 調定処理管理
- 納入通知書管理
- 現金領収管理
- 口座振替管理
- 消込処理

EUC情報検索機能

- 船舶・荷役・施設情報検索

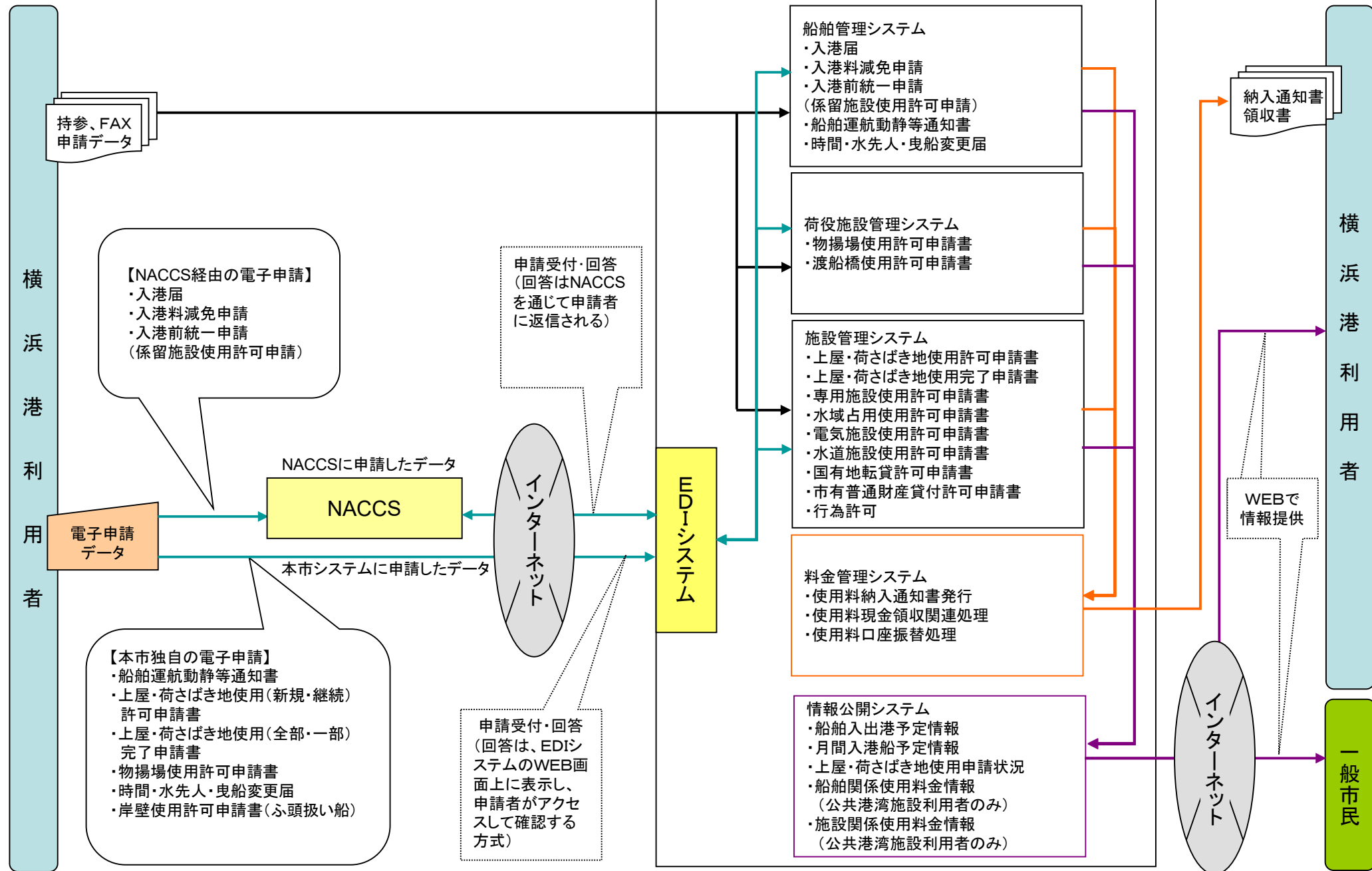
EDIシステム(電子申請受付)

- 入港届 (NACCSと連携)
- 入港料減免申請 (NACCSと連携)
- 入港前統一申請 (係留施設使用許可申請書) (NACCSと連携)
- 上屋・荷さばき地使用 (新規・継続) 許可申請書
- 上屋・荷さばき地使用 (全部・一部) 完了申請書
- 船舶運航動静等通知書
- 物揚場使用許可申請書
- 時間・水先人・曳船変更届
- 岸壁使用許可申請書 (ふ頭扱い船)

情報公開システム

- 入出港予定船情報照会 (文字／グラフィック表示・CSVファイルに出力)
- Entry Schedule (英語版船舶動静情報照会)
- 月間入港予定船情報照会
- 上屋・荷さばき地使用申請情報照会
- 船舶関係使用料金情報照会
- 施設使用料金情報照会
- 掲示板

港湾情報システム上のデータの流れ



システムの歩み

昭和49～51年	港湾局業務現状調査・分析、横浜港港湾管理システム概要設計
昭和52～55年	システム導入機器決定、システム開発着手、マシン室等設備工事、センターコンピュータ・端末機・表示装置等設置
昭和56年	システム運用テスト、料金管理、上屋・荷さばき地管理、物揚場等管理システム稼働
昭和57年	船舶入出港管理システム稼働、横浜港港湾管理システム全面稼働
昭和58年～	システム評価見直し、改善
昭和61年	コンテナ搬入出データFD交換システム開発
昭和62年	センターコンピュータ、端末機器更新
昭和63年	新機種によるシステム稼働(1月)、本格的日本語化処理システム導入
平成元年	指定統計管理システム開発
平成2年	船舶情報表示システム開発(地図情報システムの導入)
平成4年	システム全面再構築に着手
平成5年	システム設計
平成6年	プログラム開発、システム総合テスト、平行稼働テスト
平成7年	第2次横浜港港湾管理システム全面稼働(1月)
平成11年	横浜市港湾局EDIシステム稼働開始(10月)
平成13年	第3次横浜港港湾情報システム開発に向け検討・調査
平成14年	横浜港統計管理システム稼働(Sea-NACCSに対応)
平成14年	第3次横浜港港湾情報システム設計、プログラム開発、システムテスト
平成15年	第3次横浜港港湾情報システム全面稼働(4月)、シングルウィンドウ(現NACCS)に接続(7月)
平成17年	横浜市港湾局EDIシステムに2手続を追加(4月) (物揚場使用許可申請、時間・水先人・曳船変更届) 横浜市港湾局EDIシステムに2手続を追加(11月) (岸壁使用許可申請(ふ頭扱い船)、新船舶運航動静等通知)
平成18年	横浜市港湾局EDIシステムに岸壁定期使用許可申請を追加
平成20年	サーバ・クライアント系機器更新 横浜市港湾局EDIシステムにSSLを導入 府省共通ポータル(現NACCS)に接続
平成21年	府省共通ポータル(現NACCS)に2手続を追加(10月) (入港料減免申請、船舶運航動静通知)
平成25年	サーバ・クライアント系機器更新 府省共通ポータルがNACCSに統合
平成31年	システム更新により第4次横浜港港湾情報システム稼働(1月)

横浜市港湾局港湾管財課 作成:平成23年8月 更新:令和7年2月

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

TEL 045-671-7347 / FAX 045-662-6466

E-Mail: kw-it-suisin@city.yokohama.lg.jp

横浜市港湾局EDIシステムホームページURL: <https://www.port.city.yokohama.lg.jp/SSO/>

横浜港情報公開システムホームページURL: <https://www.port.city.yokohama.lg.jp/IDS/>